



宜野湾市の"未来を支える"大人の皆様へ

今、私たちは時代の転換期にいます。これまでの常識、慣習など「あたりまえ」と思っていたことが特別なことになり、新しい生活様式、新しい価値観の波が押し寄せ、戸惑っているうちに、それが「あたりまえ」へと変わっていく変容の渦の中にいます。仕事のAI化や職種の多様性、働き方さえも変化する中で、子どもたちへのキャリア教育に難しさを感じている方も多いのではないのでしょうか。豊かな人生とは、自分以外の幸せに関わること、つまり”はたらく”によって得られるものです。その大切な気づきを促す教育は、学校や家庭だけでは本来の力を発揮できず、地域という要素が加わることでキャリア教育での学びは深まるのです。

宜野湾市を支える大人の皆様。成功も失敗も経験したその姿は、子ども達にとっては珠玉の教科書です。はたらく理由、やりがい、労苦の先の成長、人への感謝、地域への思いなど変容の時代であっても変わらないものがあるはず。人生の先輩として、未来の宜野湾市を創る子ども達と関わってみませんか。



キャリア教育のすすめ



はじめに

宜野湾市では平成30年度から「宜野湾市みらいづくり連携協議会」を立ち上げ、これからの街づくりや将来を担う人材の育成について話し合いを重ねてきました。本協議会では、学校や教育委員会、産業界と連携を図り、小学生のうちから故郷の産業・職業を正しく理解し、地域を愛する心をもって宜野湾市の発展を考えられる人材の育成を目指して、キャリア教育プログラムを実施しています。しかし各発達段階に応じた切れ目のない支援を継続していくためには、学校だけでなく、働く大人の一人一人がキャリア教育の必要性について理解し、その取組みに参加することが大切です。宜野湾市の大人が一丸となって、地域に愛着と誇りを持つ人材を育てていきたいという思いから、「キャリア教育のすすめ」を作成しました。本冊子がキャリア教育を考えるきっかけになれば幸いです。

Q & A



Q 協力したいが、簡単な作業しか任せられない

A 簡単な作業でも大事な業務の一環です。大切なのは「簡単な作業も大切な仕事であり、きちんと意味があること、そしてその意味について説明してあげる」ことです。

Q 事業所内部の情報が外部に漏れてしまうことはないのか

A 学校では事前学習で情報の取り扱いについて指導をしてから送り出しておりますが、受入時のオリエンテーションでもスマートフォンの扱いや社内情報の取り扱いについても取り決めを行ってください。また、別途誓約書などを取り交わす必要がある場合は、学校にお伝え下さい。

Q 子ども達とどのように接したら良いか分からない

A 子ども達を「お客様」のように扱わず、事業所の一員として接して下さい。また、幅広い年代の人たちと接する貴重な機会となりますので、みんなが気持ちよく働けるためにマナーやルールがあることを伝えて下さい。

Q キャリア教育に参画したいのですが、どうしたらよいですか

A キャリア教育で子ども達を支援していきたいと考えている地域・産業界の皆様と学校との橋渡しをしている私たちへご連絡ください。また、学校に直接お声かけいただいても良いです。

宜野湾市みらいづくり連携協議会

【Facebook : <https://www.facebook.com/ginowanmiraidukuri>】

発行：宜野湾市市民経済部産業政策課
編集・制作：株式会社ケイオーパートナーズ



キャリアとは？



「キャリア」という言葉からは、「エリートになるための教育」や「出世をして偉くなる」ということをイメージする方も多いと思いますが、もともとキャリアという言葉は「馬車の轍(わだち)」という意味です。馬車が通った車輪の跡、これを人に例えると「足あと」になります。生まれてから今までどんな「足あと」をつけてきたのか、これからどんな「足あと」をつけていきたいのかを考えていくのが「キャリア教育」です。

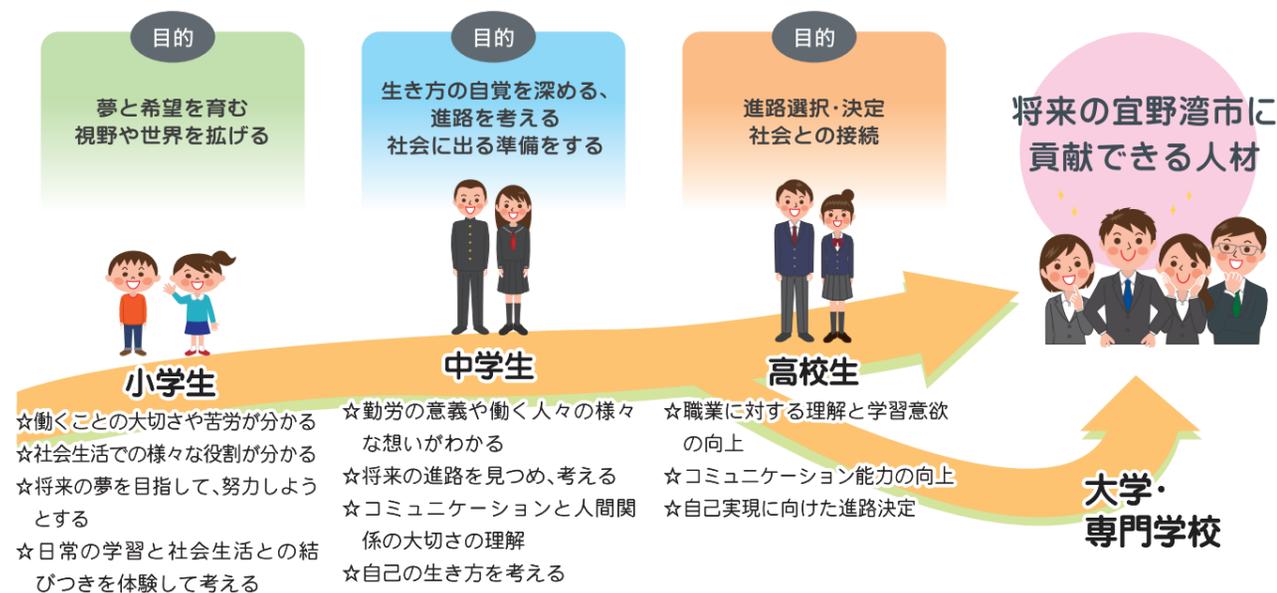
キャリア教育の目的

キャリア教育とは「自分の幸せのために必要なモノ・コトは何か。それを手にするためには"何が出来るようになりたいのか"、そのために"どう学ぶか"を、社会との関わりから気づきを促す教育です。重要なポイントは、**社会と関わる**ということです。



発達段階におけるキャリア教育について

キャリア教育におけるプログラムの代表例として、職業人講話や職場体験、インターンシップなどがあります。働くことの厳しさや楽しさ、やりがい等の勤労観・職業観を「働く大人」から学ぶことを目的に、発達段階別に次のような力を子ども達は身につけていきます。



キャリア教育プログラムとは？



聴く

職業人(社会人)講話

身近な働く大人による等身大の講話を聴くことで、「仕事」や「働く」ことへの理解や興味関心、意欲を高めます。また、講師自身の仕事の役割や仕事に就くまでの道のり等を知る事で、自身の将来をイメージし、今後の生活や進路選択に主体的に取り組む動機付けになることが期待できます。

見る・触れる

出前講座、職場見学、ジョブシャドウイングなど

仕事で使う道具等に触れたり、現場の様子を再現してみたり、働く大人に影のように付き添って仕事を見ることで、仕事や働くときに必要となる知識やスキルに触れ、学校での学習と仕事のつながりへの認識(気づき)が期待できます。

体験する

職場体験、インターンシップなど

実際に働くことを通して、職業についての理解の深まりや、働くことの大切さや、大変さ、楽しさを感じ取ることができます。その経験を通して、働くことや学ぶことの意義を理解し、主体的に進路を選択し決定する態度や意志、意欲につながることが期待できます。また、親や教師以外の働く大人と接することで、コミュニケーション能力や、社会人としてのマナーを学ぶ機会となります。

参画する

PBL(問題解決型学習)、地域の資源を活かした商品開発など

地域や事業所の課題解決に向けて大人や仲間と話し合い、協力していくなかで、学習に対する意欲が上がるだけでなく、積極性やコミュニケーション能力の向上、働くことへ関心を持つなど実社会で役に立つ力を育む機会となります。



事業所の役割やメリット

キャリア教育の取組みに協力することで、子ども達の学習の効果になるだけでなく、企業にも様々な効果をもたらします。

◆社員の成長につながった！

子どもに業務等を教える過程で、若手社員に先輩としての意識が芽生え、就業意識や職務理解の向上が図られ人材育成につながります。

◆地域社会への貢献

地域に貢献し、次世代を担う人材育成に熱心な事業所として認知され、地域社会との連携の深まりが期待できます。

◆職場雰囲気活性化

子ども達と接することで、社内に良い意味での緊張感や刺激が生まれ、活気が出ることで社員の意欲向上にもつながります。

◆事業所や産業のファンづくり

事業所や仕事を実際に見てもらい、事業所や産業の魅力を伝えることで、認知度が高まり、未来を担う人材育成にもつながります。

◆子ども達の意識や実態の把握

子ども達と関わることで将来を担う次世代の考え方や意識を直接知ることができるため、斬新な発想や感性に刺激を受け、業務改善等を見直す機会になります。